

# 第6学年 外国語活動学習指導案

児童 6年1組 39名  
指導者 山下一幸（HRT）  
Peter Aviles Almazan（ALT）  
功刀誠一（ALT）  
場所 視聴覚室

1 単元名 「行ってみたい国を紹介しよう」（英語ノート2 Lesson 6）

2 単元について

(1) 児童の実態

児童は6学年になり、4単元の学習を経験してきた。「友達の誕生日を知ろう」「道案内をしよう」の学習では、月や序数を表す英語を使って互いの誕生日を伝え合ったり、建物や方向を表す表現を使って道案内をしたりする学習をした。その学習を通して、自分の思いを伝えることや、たくさんの友達とかかわることの楽しさを味わった。「アルファベットで遊ぼう」「いろいろな文字があることを知ろう」の学習では、アルファベットの大文字と小文字の関係を知ったり、自分の身の回りにはアルファベットが多く使われていることを実感したりして、アルファベットに慣れ親しむことができた。

第1回実態調査(8月18日実施)では、86%の児童が外国語活動の授業を「すごく楽しい」「楽しい」と答えている。また、「先生や友達が話す英語を聞き取ろうとしている」と答えた児童も94%に達している。一方で、「自分の思いをあまり相手に伝えようとしていない」と答えた児童が30%近くいる。

実態調査から分かるように、児童の多くは外国語活動の授業を楽しみにしている。ALTの話す英語を推測して聞いたり、様々な活動でジェスチャーや日本語を交えながらALTや友達に自分の考えを伝えようとしていたりする姿も見られるようになってきた。しかし、正しく表現することを意識しすぎて、英語を暗記しようとしていたり、話す英語に自信がもてなかったりしている様子も見られる。そこで、相手に自分ができる精一杯の表現方法で伝えようとしている姿を褒め、積極的にコミュニケーションする態度を大切にしてきた。また、やりとりをする相手が普段から仲よくしている友達に限定されてしまうことが多いことから、多くの友達とのやりとりが必要となる活動を設定し、互いを理解し合う喜びを少しずつ味わえるようにしてきた。その結果、普段あまり会話をしない友達とやりとりをしている場面が増えてきた。

(2) 単元のねらい

本単元の内容は以下の通りである。

<主としてコミュニケーションに関すること>

- ・ スピーチをしたり、友達のスピーチを聞いたりして、スピーチをする楽しさを体験すること。
- ・ 自分の思いがはっきりと伝わるようにスピーチをしたり、積極的に友達のスピーチを聞いたりすること。
- ・ 行ってみたい国やその理由についてのまとまった話を聞いて、その概要を理解することの大切さを知ること。

<主として言語や文化に関すること>

- ・ 行ってみたい国やその理由を話す活動を通して、英語の音声やリズムに慣れ親しむこと。
- ・ 世界では様々な英語が話されていることに気付くこと。
- ・ ALTなどの異なる文化をもつ人々に行ってみたい国を話し合う体験をし、文化に対する理解を深めること。

本単元では、いろいろな国でいろいろな英語が話されているということを知らせる。そして、英語はコミュニケーションの道具であるということを知り、伝えたいことを思い切り英語で話してみようという意欲を育てていく。また、行きたい国やその理由を考えると、様々な国や地域についての興味・関心を高めていく。

第1時では、いろいろな国の人が話す英語を聞かせ、たくさんの国で英語が使われていること、同じものを表す英語でも表現・語彙や発音に違いがあることに気付かせる。そして、正しい英語を話すより、相手に思いを伝えようとする意識をもつことが大切であることを実感させる。

第2時では、チャンツやゲームをしたり、国旗とその国の特徴を表す絵を線で結んだりする活動を行う。これらの活動を通して、行ってみたい国やその理由を表す英語表現に慣れさせる。

第3時では、第2時同様チャンツやゲームを通して英語表現に慣れ親しませる。また、「グループみんなで行ってみたい国」を話し合っ決めて、スピーチをする。提示された国の中からグループみんなで行ったら楽しいと思う国を選び、理由も付けて発表する。この活動で、理由を付けて話すことで自分の考えが相手に伝わりやすくなることを感じ取らせる。また、スピーチをするために、グループみんなで教え合いながら、行ってみたい国やその理由についての英語での言い方に慣れさせる。

第4時では、「自分のコミュニケーションツールを活かした体験的活動」として、『行ってみたい国を紹介し合っ、世界地図にまとめよう』の活動を行う。第3時で行ったグループでのスピーチの経験を活かして、自分が行ってみたい国を友達と紹介し合う。この活動で、行ってみたい国や場所を尋ねる言い方に慣れ親しませながら、英語で自分の思いを伝え合う楽しさを味わわせる。また、世界各国のよさや友達の思いを想像したり感じ取ったりさせる。

### (3) 指導に当たって

本単元では、世界中で様々な英語が話されていることを知り、世界の国々への興味・関心を高める活動、英語を使って行ってみたい国と理由を発表する活動、表現を工夫して行ってみたい国と理由をたくさんの友達と伝え合う活動が中心となる。

世界中で様々な英語が話されていることを知る活動では、複数の外国人が英語で簡単な自己紹介をする映像を視聴させ、イギリスやアメリカ以外の国でも英語が使われていることに気付かせる。また、それぞれの国の簡単な紹介を加え、世界の国々への興味・関心を高める。さらに、複数の外国人がそれぞれの言い方で食べ物を紹介するクイズを映像の中に入れ、同じものでもたくさんの言い方があり、表現・語彙や発音の正確さよりも相手に伝えようとする姿勢が大切であることを実感させる。

行ってみたい国と理由を英語を使って発表する活動では、「グループみんなで行ったら楽しそうな国」というテーマで、グループごとに話し合い、発表する。話し合いの中で、外国の特徴やグループみんなの興味・関心について交流し合ったり、発表するときの英語

表現や話し方などを互いにアドバイスし合ったりさせる。そして、友達とかかわるよさを感じ取らせながら、外国の文化の特徴に触れ、英語表現にも慣れさせる。英語表現に慣れるための活動として、チャンツとゲームも取り入れる。チャンツでは、児童の意欲が減退しないよう、慣れてきたら国の名前を替えて行う。ゲームでは、授業者と児童で行うゲームだけでなく、児童同士でやりとりをするゲームを加えていき、友達と楽しく活動させながら英語表現に慣れさせていく。チャンツ、ゲームを多く設定し、英語表現に慣れさせることで、児童の「話してみたい」「使ってみたい」という気持ちを高めたい。

表現を工夫して行ってみたい国と理由をたくさんの友達と伝え合う活動では、「自分のコミュニケーションツールを活かした体験的活動」として行ってみたい国とその理由をたくさんの友達と英語で紹介し合う活動を行う。もし、英語での言い方が分からないときはジェスチャーを使うなど自分なりに表現を工夫して伝える。自分の思いを友達に伝えるためにはどうすればよいか、友達が自分に何を伝えようとしているのかを互いに考えて表現し合い、「自分の思いが相手に伝わった」「相手の考えを感じ取った」という満足感をもたせたい。さらに、学級全員の行ってみたい国とその理由を1枚の世界地図にまとめ、より多くの友達の思いや、世界各国のよさを考えさせたい。

### 3 単元の目標

- 世界でいろいろな英語が話されていることに気付くとともに、世界各国の文化や様子を想像する。＜思考力とのつながり＞
- 自分の思いが伝わるように表現を工夫したり、友達の伝えたい内容をつかんだりする。＜思考力・判断力・表現力とのつながり＞
- 行ってみたい国をその理由とともに発表する。＜判断力・表現力とのつながり＞

### 4 指導計画

#### (1) 単元の指導計画（指導時数4時間）

	＜第1時＞	＜第2時＞	＜第3時＞	＜第4時＞(本時)
目標	様々な英語があることを知り、外国の文化に興味をもつ。	行ってみたい国やその理由の言い方を知る。	グループみんなで行ってみたい国を考え、理由とともに発表したり、他のグループの発表を聞いたりする。	自分が行ってみたい国とその理由をたくさんの友達と伝え合う。
活	[Let's Play] 様々な国旗絵カードをみて、どこの国の国旗かを考える。	[Let's Chant] *英語ノート P37 リズムに合わせ ♪ I want to go to Itary. ♪を言う。 慣れてきたら、国替えてやってみる。	[Let's Chant] *英語ノート P37 リズムに合わせ ♪ I want to go to Itary. ♪を言う。 慣れてきたら、国替えてやってみる。	[Let's Play] ラッキーフラッグゲームをする。 ※ 国旗を取るとき、行きたい国にその理由も加えて話す。
	[Let's Listen] 映像に登場する数人の外国人が話す英語に違いが気になることに気付く。	[Let's Listen 1] *英語ノート P38 CDを聞いて、カードを順に並べる。	[Let's Play] ラッキーフラッグゲームをする。 ※ 国旗を取るとき、行きたい国にその理由も加えて話	◎【Activity】 『行ってみたい国を紹介し合って、世界地図にまとめよう』

動	[Let's Listen 1] * 英語ノート P36 4人の自己紹介から分かったことを書く。	[Let's Play] * 英語ノート P38 ビンゴゲームをする。	す。 [Let's Listen] * 英語ノート P40 CDを聞いて分かったことを書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時に作った「自分が行ってみたい国カード」を確認する。</li> <li>たくさんの友達と、行きたい国を紹介し合う。</li> <li>友達から聞いた行ってみたい国と理由を「記録表」に書く。</li> <li>友達の行ってみたい国をALTに伝え、その国の国旗を受け取る。</li> <li>行ってみたい理由を付箋に書いて国旗に貼り付け、世界地図上のその国の位置に立てる。</li> <li>完成した世界地図と記録表を使って、友達の思いや外国の様子を想像したり、自分の活動を振り返ったりする。</li> </ul>
	[Let's Chant] * 英語ノート P37 リズムに合わせて♪ I want to go to Italy. ♪を言う。	[Let's Listen 2] * 英語ノート P39 CDを聞き、子どもたちが行ってみたい国と理由とを線で結ぶ。	[Activity] 提示されたいくつかの国の中から、グループみんなで行ったら楽しいと思う国を話し合い、その国と選んだ理由を発表する。	
		[Let's Play] ラッキーフラッグゲームをする。 ※ グループで円を作り、中央に複数の国旗を置く。順番を決め、1番の人に全員で「Where do you want to go ?」と尋ねる。1番は「I want to go to ~.」と答え、その国の国旗を取る。2番以降も同様にして国旗を取っていく。HRTが持っているラッキーフラッグと同じ国旗を持っている児童の勝ち。	[Activity] 自分が行ってみたい国を紹介する活動を行うことを知り、これまでの学習や生活経験を基にして、「自分が行ってみたい国カード」を作成する。	
◎…【自分のコミュニケーションツールを活かした体験的活動】				
[Let's Listen]…CDやALTが話す語彙や表現を聞いて、新しい表現を知ったり、質問の答えを考えたりして外国語に慣れる。				
[Let's Chant]…リズムに合わせてCDやALTの言う外国語(英語)を真似し、外国語独特のリズムを感じ取ったり、表現に慣れたりする。				
[Let's Play]…◇ 単元で扱われる表現や語彙を、ゲームなどを通して、繰り返し聞いたり話したりして慣れる。 ◇ 学んだ英語を使って簡単なコミュニケーション活動をする。 ◇ 異文化に触れ、日本文化との共通点や相違点などに気付く。				
[Activity]…慣れ親しんだ語彙や表現、ゲームの経験を活かして、 ① 日常生活により近い場面、たくさんの相手とのやりとりを必要とする場面、1対1でより多くのやりとりをする場面でのコミュニケーション活動を体験する。 ② 日本の文化と世界の文化について新たな発見をしたり、自分の考えや思いを表現したりする。				
* 英語ノート…英語ノートを活用しての活動(*のない活動は本校独自の活動)				

(2) 慣れ親しませたい表現・語彙

<慣れ親しませたい表現> Where do you want to go? I want to go to ~.

<慣れ親しませたい語彙> Italy, Japan, China, Korea, Brazil など世界の国名

5 本時の指導

(1) 目標

- 自分が行ってみたい国とその理由をたくさんの友達と伝え合う。<思考力・判断力・表現力とのつながり>

(2) 自分のコミュニケーションツールを活かした体験的活動について

本時に活かす コミュニケーションツール	体験的活動	支援の仕方
<p>1 姿勢</p> <p>ア 外国の文化を受け入れようとする姿勢</p> <p>イ 自分の思いや考えを伝えようとする姿勢</p> <p>ウ 相手の思いを感じ取ろうとする姿勢</p> <p>エ 相手とのやりとりをあきらめない姿勢</p> <p>2 方略（英語の語彙や文法に関する知識が不足している場合に、相手とやりとりを続けていくためのもの）</p> <p>ア 表情 イ ジェスチャー</p> <p>ウ ものまね エ 言い換え</p> <p>オ 近い言葉を自分で作る</p> <p>3 表現・語彙</p> <p>ア 相手との関係を円滑にするもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あいさつをすること。 Hello. Good-bye.</li> <li>・ 礼を言うこと。 Thank you.</li> <li>・ 相手の思いや考えを評価する一言を話すこと。 Very good. Nice.</li> </ul> <p>ウ 事実を伝えるためのもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界の国名 Italy, China, Brazil, Korea など</li> </ul> <p>エ 考えや意図を伝えるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行ってみたい国を伝え合うこと。 Where do you want to go? I want to go to ~.</li> <li>・ 行ってみたい理由を伝え合うこと。 I like ~. I want to ~.</li> </ul>	<p>◎『行ってみたい国を紹介し合って、世界地図を作ろう』</p> <p>前時に作成した「行ってみたい国カード」を基にして、自分が行ってみたい国とその理由を、英語を使ったり、表現方法を工夫したりしてたくさんの友達と伝え合う。聞いたことは記録表にメモする。</p> <p>友達が行ってみたい国の国旗カードをALTから受け取り、付箋に行ってみたい理由を書いて国旗カードに貼る。国旗カードを世界地図上のその国の位置に立てる。</p> <p>完成した世界地図から、自分が何人と尋ね合うことができたかを振り返ったり、学級のみんながどの国にどんな理由で行ってみたいと思っているかを感じ取ったりする。</p> <p>&lt;思考力・判断力・表現力とのつながり&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ HRTとALTがデモンストレーションし、活動の仕方についてのイメージをもたせる。その際、あいさつをしない、礼を言わないなどの悪いモデルも示し、自分の思いを伝え合ったり、相手とよりよい関係を築いたりするための改善点に気付かせる。</li> <li>・ 伝えたいことが英語で言えなくなったときや相手の英語が分からないときは、ジェスチャーを使ったり、ALTに聞いたりしてよいことを確認する。</li> <li>・ 国旗カードが既に立てられていた場合は、同じ国旗のシールを国旗カードに貼る。シールがたくさん貼られることは、多くの友達とやりとりをした証であることを話し、意欲を高める。</li> <li>・ 学級全員の行ってみたい国と理由がまとめられた世界地図をじっくりと見ることで、友達の行ってみたい国への思いを感じ取らせる。また、世界にはたくさんの国があることに気付かせ、外国への興味・関心を高める。</li> </ul>

(3) 展開

過程 (分)	児童の活動	教師の支援 (◎評価 ◇教材・準備物)	
		H R T	A L T
導入 (3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A L TやH R T、友達とあいさつをする。 Hello, I'm fine/ happy/ hungry/ sleepy.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童と一緒にA L Tにあいさつをした後、児童一人一人とあいさつをする。 Hello, I'm fine/ happy/ hungry/ sleepy.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体にあいさつをした後、児童一人一人とあいさつをする。 Hello, everyone.</li> </ul>
展開 (37)	<p>1 [Let's Play]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ラッキーフラッグゲームをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゲームのやり方を確認する。(グループで円を作り、中央に複数の国旗を置く。順番を決め、1番の人に全員で「Where do you want to go?」と尋ねる。1番は「I want to go to ～. I like ～.」と答え、その国の国旗と理由につながる絵カードを取る。2番以降も同様にして国旗と絵カードを取っていく。H R Tが持っているラッキーフラッグと同じ国旗を持っている児童の勝ち。)</li> <li>・ うまく活動できずにいるグループや児童にアドバイスをする。</li> </ul> <p>◇ 国旗カード、絵カード(外国の観光地や有名な料理、スポーツ等が描かれたもの)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童のグループに入って、一緒にゲームをしながら、うまくできずにいる児童にアドバイスをする。</li> </ul>
<p>2 ◎[Activity]</p> <p><b>【自分のコミュニケーションツールを活かした体験的活動】…</b> 『行ってみたい国を紹介し合って、世界地図にまとめよう』</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時の「グループみんなで行ったら楽しいと思う国」を紹介する活動を振り返る。</li> <li>・ 前時に書いた『行ってみたい国カード』を使って、自分が行ってみたい国とその理由を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 掲示してある「グループみんなで行ったら楽しいと思う国」を使って前時の活動を振り返る。その際、世界にはたくさんの国があること、理由を付けて話すことで自分の考えが相手に伝わりやすくなることを確認する。</li> <li>◇ 前時に作った『グループみんなで行ってみたい国』</li> <li>・ H R Tの行ってみたい国と理由を紹介し、自分も伝えたい、友達にも聞いてみたいという意欲を高める。</li> <li>◇ 担任が作った『行ってみたい国カード』</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分にも行ってみたい国があること伝え、児童の聞いてみたいという意欲を高める。</li> </ul>

- ・ デモンストレーションを見て、『行ってみたい国を紹介し合って、世界地図にまとめよう』のやり方を知る。
- ・ デモンストレーションを見て、相手とよりよい関係を築くために気を付ける点を考える。

- ・ 行ってみたい国とその理由を友達と紹介し合い、学級全員分を1枚の世界地図にまとめることを告げる。

- ・ やり方をデモンストレーションする。

① 相手を決めて、行ってみたい国を紹介し合う。聞き取ったことは記録表に記入する。

A : Hello , B .

B : Hello , A .

A : Where do you want to go ?

B : I want to go to ○○ . I like ~ .

A : Oh, nice. (Bは記録表に記入する。)

B : Where do you want to go ?

A : I want to go to □□ . I want to see ~ .

B : Very good. (Aは記録表に記入する。)

A : Thank you, bye.

B : Bye.

② A L Tのところに行き、相手に紹介された国の国旗をもらう。

A : Hello, Peter (Kunugi) 先生. ○○ flag please.

③ 記録表を基にして、その国に行ってみたい理由を付箋に書いて国旗に貼る。

④ 用意された白地図(世界地図)に③の国旗を立てる。

⑤ 2人目以降は、紹介し合った友達の国旗を白地図から見付け、その国旗にシールを貼る。

- ・ あいさつをしない、礼を言わないなどの悪いモデルも示し、自分の思いを伝え合ったり、相手とよりよい関係を築いたりするための改善点を考えさせる。

- ・ 英語の言い方が分からないときはジェスチャーを使ったり、A L Tに聞いたりしてよいことを確認する。

◇記録表 ◇国旗 ◇付箋 ◇白地図 ◇国旗シール

- ・ 全員でA L Tに行ってみたい国を尋ねる。

- ・ デモンストレーションを参考にして、全員でA L Tに行ってみたい国を尋ねるように呼び掛ける。

- ・ 自分が行ってみたい国とその理由を紹介する。

- ・ 友達と、自分の行ってみたい国を紹介し合い、聞いたことを記録表に記録する。

- ・ 尋ねることができなかつたり、表への記録方法や国の場所が分からずにいる児童にアドバイスをする。

- ・ 国旗をもらいに来た児童に国旗を渡す。その際、英語やジェスチャーで伝えることを促し、伝わったときには賞賛の声掛けをする。

- ・ A L Tから受け取った国旗に、行きたい理由を書いた付箋を貼り、白地図に立てたり、立てられている旗にシールを貼ったりする。

◎ 自分が行ってみたい国と理由を、友達に伝える。

◎ 友達の話聞いて、内容を理解する。

<行動観察、記録表、白地図(世界地図)>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>全員で完成させた学級の「行ってみたい国をまとめた世界地図」を見て、友達の思いを想像したり、各国のよさを考えたりする。</li> <li>一覧表を見て、気付いたこと、考えたことを記録表の振り返りの欄に記入し、発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行ってみたい国が自分と同じ友達が何人いたかやその国を選んだ理由、自分が知らない外国のよさなど、考える観点を示す。</li> <li>友達の考えをくみ取ったり、外国のよさに気付いたりした児童を紹介する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「行ってみたい国をまとめた世界地図」を見て、気付いたことを紹介し、児童が考える際の参考にさせる。</li> </ul>
<p><b>【目指す子どもの姿】</b></p> <p>積極的に友達と行ってみたい国を紹介し合い、行ってみたい国をまとめた世界地図を完成させ、友達の思いに共感したり、各国のよさを考えたりする。</p> <p>&lt;思考力・判断力・表現力とのつながり&gt;</p>			
<p>終末 (5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HRTとALTの話聞き、活動を振り返る。</li> <li>あいさつをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が考えた行ってみたい国とその理由、コミュニケーションを図ろうとした態度について、よかったところを中心に話す。</li> <li>あいさつをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童がコミュニケーションを図ろうとした態度について、よかったところを中心に話す。</li> <li>あいさつをする。</li> </ul>